

平成29年度 寒川町みんなの協働事業提案制度モデル事業採択事業【実績報告】

資料 4

	協働事業名	提案団体名	事業協力課	事業概要	町の役割	交付額（決算）
事業①	野良猫を捕獲して、不妊去勢手術をして、元の場所に戻す活動（TNR活動）及び子猫の保護と里親制度の活用	寒川ネコの会	環境課 都市計画課	一之宮地区の野良猫を増やさないため、野良猫を捕獲して不妊去勢手術を施すことで繁殖を抑制し、ごみ集積場の荒らしや糞尿被害等を減らした。また、子猫については保護し、ワクチン接種、給餌やトイレ等のしつけ後、里親を探して野良猫に戻さないようにした。	掲示板の設置許可、団体が地域住民へ行う事業PRの調整等	300,000
事業②	川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理	川とのふれあい公園花壇の会	都市計画課	川とのふれあい公園にある花壇で苧草等を堆肥化するための区画を設置し、堆肥化したものを花壇の肥料として利用した。スイセンを植え、町の花のPR等を行った。掲示板を設置し、公園利用者へ花や生き物の情報提供を行った。	河川管理者への手続き、シルバー人材センターへの連絡、花壇利用のPR等	234,778
事業③	町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動	住みよい町・さむかわにする会	道路課 都市計画課 教育総務課	町内施設の樹木調査を行い、土壌微生物の有効活用をし適正な管理と樹勢回復を図った。樹木以外の植栽についても、必要な箇所については散水や植栽を行った。また、役場担当課職員へ樹木知識の勉強会を実施した。	樹木管理のノウハウ取得、残材処理、資材運搬等	300,000
事業④	子ども未来塾 ～生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」～	住みよい町・さむかわにする会	学校教育課	民間の学習塾に通うことが難しい子どもたちの学力支援を図った。勉強を中学3年生から始めても学力向上は難しいため、1、2年生も対象として授業を行った。単なる学力支援だけではなく、子どもたちの悩み事全般の相談相手となった。	生徒への呼びかけ、講師募集の広報、公的情報の提供、学校との協議等	300,000
事業⑤	青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業	小谷地域防犯安全パトロール隊	町民安全課	犯罪や事故等の未然防止、防犯意識、交通安全意識の向上や、地域の安全・安心を図るため、青色回転灯を装着した車両でパトロールを実施した。	活動協力者募集の広報、警察等関係機関との調整、不審者情報の提供等	95,000
事業⑥	さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇整備事業	さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇	環境課	町内外から多くの見学者が訪れるさむかわ広域リサイクルセンターの遊歩道緑地について、除草、花壇整備、四季の花の移植、害虫の駆除等を行うことにより、虫刺され被害の防止、ボランティア活動への理解、「憩いの場所」の提供等を図った。	敷地の管理委託業者との調整、花壇のPR、花壇整備活動の内容紹介掲示等	51,000

第 8 号様式（第 16 条関係）

協働事業評価シート

H30 年 4 月 9 日

提案者 (団体名・代表者 氏名)	さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇 安藤 高芳
協働事業名	さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇
事業協力課	環境課
準備段階	1. 協働が開始された段階は ☐準備段階 ☒実施段階 ☐その他 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒団体から ☐町 ☐その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか ☒はい ☐いいえ 意義 () (備品購入に役立った) 4. 事業の目的は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目的 () (以前から活動していた延長である) 5. 事業目標 (目標に対して何がどのようになるか) は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目標 () ‘以前から活動していたがより活動しやすくなった 6. 町 (事業協力課) との相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由 () 何事も連絡を取り合いいろいろな案件に協力をしていただいた

実施段階	7. 事業実施上の役割分担は適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由 () 適切だと思う 8. 進捗状況や情報は共有できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 () メールなどで情報（写真を添付して明確に）提供した 9. 実施のプロセスで記録は残せたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 () 活動報告を写真で記録した 10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか ☐ はい ☐ いいえ 理由 () どちらともいえない ボランティア活動にもっと理解してほしい
終了後の段階	11. 目標・目的は達成できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 () 何種類の花も咲き 四季折々の花で花壇らしくなった 12. 今後の課題や改善策を話し合ったか ☒ はい ☐ いいえ 理由 () 土が少なく乾燥して散水が大変 土の補充のお願いした 13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 ☒ 3 2 1 【高い：5 低い：1】 理由 () 花壇を見に来た方と交流が出来た 球根や花の苗を提供された 14. その他気づいた点など（自由記入） ①補助金を頂きボランティア活動の用具（除草用鎌など）を買いそろえ活動が大変楽になった ②目久尻川を散策する人 リサイクルセンターを見学される方の憩いの場所になっている ③町はボランティア活動をもっと応援してほしい（形として）

協働事業評価シート

平成30年4月 2 日

提案者 (団体名・代表者 氏名)	寒川ネコの会 代表者 渡辺 良美
協働事業名	野良猫を捕獲して、不妊去勢手術をして、元の場所に戻す活動 (TNR活動) 及び子猫の保護と里親制度の活用
事業協力課	環境課、都市計画課
準備段階	1. 協働が開始された段階は ☐準備段階 ☒実施段階 ☐その他 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☐団体から ☐町 ☒その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか ☒はい ☐いいえ 意義 (野良猫問題を解決するため、町と情報共有しながら行った) 4. 事業の目的は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目的 (野良猫の増加を抑制し、地域住民から猫に対する理解を得る。又一之宮公園内での衛生悪化を防止する。) 5. 事業目標(目標に対して何がどのようになるか)は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目標 (一之宮地区における野良猫の減少) 6. 町(事業協力課)との相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由 (今後も良好な関係を築きながら団体の自主的な活動を継続する)

実施段階	7. 事業実施上の役割分担は適切だったか ■はい □いいえ 理由 (情報共有しながら必要に応じて支援を行った) 8. 進捗状況や情報は共有できたか ■はい □いいえ 理由 (定期的に情報交換を行うことができた) 9. 実施のプロセスで記録は残せたか ■はい □いいえ 理由 (団体により、実施の議事録等を残すことができた) 10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか ■はい □いいえ 理由 (町では出来ない捕獲等を協働の観点から団体が自主的に実施し、町は実施に伴う掲示板の作成、許可等の調整をした)
終了後の 段階	11. 目標・目的は達成できたか ■はい □いいえ 理由 (目標・目的のとおり、野良猫の増加を抑制する事ができた) 12. 今後の課題や改善策を話し合ったか ■はい □いいえ 理由 (実施範囲の拡大、会員の増員等) 13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 4 3 2 1 【高い: 5 低い: 1】 理由 (増加の一途をたどっていた一之宮地区の野良猫は、不妊去勢手術及び里親制度の活用により増加を抑制する事ができ、苦情件数も大幅に減った。) 14. その他気づいた点など (自由記入) 不幸な野良猫をこれ以上増やさないためには、一之宮地区のみではなく範囲拡大をして、継続に実施していく必要があると考える。

第 8 号様式（第 16 条関係）

協働事業評価シート

平成 30 年 3 月 31 日

提案者 (団体名・代表者 氏名)	川とのふれあい公園花壇の会 代表 河合 靖
協働事業名	川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理
事業協力課	都市計画課
準備段階	1. 協働が開始された段階は ☒準備段階 ☐実施段階 ☐その他 前年度からの継続事業 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒団体から ☐町 ☐その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか ☒はい ☐いいえ 意義 (①当該花壇は都市計画課の所管、運営は利用者ボランティア という構図であり、協働が必要であること。 ②) 河川管理者 (厚木土木事務所) との交渉に専門的知識等が 必要であること。 4. 事業の目的は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目的 (①花壇ボランティア活動の活性化 ②町の花スイセンの PR ③菰草等のリサイクル<堆肥化>)。 5. 事業目標 (目標に対して何がどのようになるか) は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目標 (①合板区画を設置し、花壇等の菰草や除草ゴミの発生がなく なること。 ②ヒガンバナ科専用の花壇を設け町の花スイセンの PR が 出来ること。) 6. 町 (事業協力課) との相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由 (継続事業であり、意思疎通はできていた。)

実施段階	7. 事業実施上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由（ 資材調達、掲示板手配などは都市計画課、球根手配や 植え付けは花壇の会、合板設置は共同作業という分担。） 8. 進捗状況や情報は共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由（ メールや電話でやり取りできた。） 9. 実施のプロセスで記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由（メールでの記録や写真を撮った。） 10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由（互いの得意分野を活かした。 ）
終了後の 段階	11. 目標・目的は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由（①ほとんどの人が合板区画を利用し、枯草等のごみが激減した。 ②掲示板を設置し、新規利用者も出た。 ③協働花壇も増設できた。） 12. 今後の課題や改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由（次年度の継続が必要と判断したため。） 13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は ☒5 4 3 2 1 【高い：5 低い：1】 理由（①草や花殻のリサイクルに協力してくれるかどうか不安も あったが、ほとんどの人が協力してくれそうなので。 ②ゴミ費用、利用者労力軽減など費用対効果はプラスが期待 できる。） 14. その他気づいた点など（自由記入） ①花壇利用者の減少の歯止めがかからない。 ②アンケートを取って、利用者の状況や希望などをもとに対応策 を検討してみたい。

提案者 (団体名・代表者 氏名)	(一社)住みよい町・さむかわにする会 理事長 鈴木 茂
協働事業名	町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動(3年目)
事業協力課	教育委員会、都市計画課、道路課
準備段階	1. 協働が開始された段階は ☐準備段階 ☒実施段階 ☐その他 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒団体から ☐町 ☐その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか ☒はい ☐いいえ 意義(樹木状態の定点観測結果により、町は今後の樹木の維持管理向上及び樹木の棚卸に役立てる事が出来る) 4. 事業の目的は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目的(自然を守り・活かし、継続的活動で、豊かな緑と環境を創造する) 5. 事業目標(目標に対して何がどのようになるか)は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目標(寒川駅周辺自然環境整備、町公共施設の樹勢回復及び樹木の棚卸) 6. 町(事業協力課)との相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由(分担作業は滞りなく進んだ) 7. 事業実施上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由(分担内容を事前に決めていた) 8. 進捗状況や情報は共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由(中間段階の情報共有化で、更に協働の精神が生きて考える) 9. 実施のプロセスで記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由(別紙参照) 10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由(団体はノウハウと小回り、町は車等のストックを生かす)
終了後の段階	11. 目標・目的は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由(問題樹木の樹勢回復が見られ、公共施設の棚卸も出来た) 12. 今後の課題や改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由(継続作業が不可欠、予算に準拠した対応が急務である) 13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は ⑤ 4 3 2 1 【高い:5 低い:1】 理由(目標をほぼ達成) 当初の活動計画を途中で一部変更を行ったものの、臨機応変に対処でき、概ね満足のゆく結果となった。引続きの経過観察と樹勢回復作業継続が基本との認識を共有できたが、町全体で予算措置行動が取れているのかは疑問が残る。 14. その他、気づいた点など(自由記入) 樹木の樹勢は自然環境に大きく依存するが、これに加え無知な剪定による人為的な樹勢劣化をもたらしている事例が多々散見された。 このような中、期間中に樹木勉強会を通じて、二次的な被害を最小限にする試みが出来たのは成果である。人的配置変更が多い中であって、ノウハウを如何に継承して行くかが今後の課題。

第 8 号様式（第 16 条関係）

協働事業評価シート

平成 30 年 4 月 5 日

提案者 (団体名・代表者 氏名)	非営利型一般社団法人 住みよい町・さむかわにする会
協働事業名	さむかわ・こども未来塾 ~生活困窮家庭の子どもたちの学力支援~
事業協力課	教育委員会 学校教育課
準備段階	1. 協働が開始された段階は ☐準備段階 ☒実施段階 ☐その他 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒団体から ☐町 ☐その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか ☒はい ☐いいえ 意義（学校、家庭との協力なくしては各生徒の学習意欲の向上ははかれ ない ） 4. 事業の目的は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目的（各生徒の学習集意欲を上げ、学力向上を遂げる） 5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目標（各生徒の理解できないことを丁寧に解説し、学力の向上をはかり、 3 年生の全員高校進学をはかる） 6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由（途中段階で不明なことがあれば相談した。 ）

実施段階	7. 事業実施上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由（3年生は受験に特化した学習内容を実施 ） 8. 進捗状況や情報は共有できたか ☒ない ☐いいえ 理由（ 適宜なタイミングで父兄、教育委員会との協議を実施） 9. 実施のプロセスで記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由（ 次年度の授業改善のため、授業内容および模試結果は記録 ） 10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由（ 各自の課題にあった高校進学のための個別指導を実施 ）
終了後の段階	11. 目標・目的は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由（ 全員の高校入学ができた。 ） 12. 今後の課題や改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由（ 講師、保護者と話し合いを持ち、今後の方向性を議論した。 ） 13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 ④ 3 2 1 【高い：5 低い：1】 理由（ 生徒間の学力の差は多く、効率的に全体を上げるには更に改善をはからなければならない ） 14. その他気づいた点など（自由記入） 今回までの4年間の実績を踏まえて、更に多くの改善をはかり、寒川の生徒たちが小学校高学年から高校生までを通じて学力向上がはかれるような組織体を当会の重要な事業として今後とも継続していけるような努力を重ねていきたい。

第8号様式（第16条関係）

協働事業評価シート

平成30年4月6日

提案者 (団体名・代表者 氏名)	小谷地域防犯安全ネット・パトロール隊 佐市 信
協働事業名	小谷地域防犯安全ネット・パトロール隊
事業協力課	町民安全課
準備段階	1. 協働が開始された段階は ☐準備段階 ☒実施段階 ☐その他 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒団体から ☐町 ☐その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか ☒はい ☐いいえ 意義 () 4. 事業の目的は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目的 () 5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか ☒はい ☐いいえ 目標 () 6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由 ()

実施段階	7. 事業実施上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由 () 8. 進捗状況や情報は共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由 () 9. 実施のプロセスで記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由 () 10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由 ()
終了後の段階	11. 目標・目的は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由 () 12. 今後の課題や改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由 () 13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 (4) 3 2 1 【高い：5 低い：1】 理由 () 14. その他気づいた点など（自由記入）

寒川町みんなの協働事業提案制度モデル事業（平成29年度実施事業）実績報告に対する意見書

協働事業名 【実績報告①】	さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇整備事業 （さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇／環境課）
（提案団体に関する意見） ・平成29年度よりの事業ですので、是非会員を増やしていただけて続けていただきたいと思います。 ・花壇が美しくなったのを見ていますので、出来る限り長く続けて欲しい。 ・今後について：代表が元気な間は続けたいとの意見表明されたのは有難いことである。水はけで苦労した（土が少ない）様子が良く判った。 ・大変良い活動・事業であると思います。 ・少人数のメンバーで環境整備にご尽力下さいまして、感謝いたします。今後も、地味な作業であります但継続的にご尽力いただきたい。 ・御苦労様です。遊歩道緑地に花壇がある事色々な花が咲いていると、とても心がなごみます。これからも継続出来ると良い。 ・雑草の伸びている場所を整備、美しい花を四季折々咲かせる取り組みが実を結び、来訪者や散歩をしている方々に、喜ばれている様子、とても良い活動で、今後も出来るだけ長く続けてほしい。 ・目的に対する成果は出ていると思いました。継続について検討していただきたいと思います。	
（町に関する意見） ・環境課の職員も、なるべくお手伝いいただけるよう努力して下さい。 ・町として、当活動に今後共協力してあげて欲しい。 ・30年度に予算を付けて継続するとの判断は妥当。 ・本事業に限った話ではありませんが、ボランティアの募集についてPR協力がもっと必要だと思います。 ・本来、センター及びその周辺の環境を整備することは行政の役割であると思う。せめて原材料費の肥料位や球根等は町で用意し、土などはまとめてどこか隅に1～2大ストックしておく位のはしておいたらどうか。 ・水やりがらくに出来ると良い？ ・花壇の様子などもっと広報すると、周知され見学者が増えると思います。 ・今後の事業継続へのサポートも必要と思います。是非、協働でステキな花だんと憩いの場を存続できるよう、お願いしたいと思います。	
（協働事業に関する意見） ・継続していただくことが一番重要ですので、いろいろ工夫して下さい。 ・町民と町の協働事業として、うまく分担された例だと思います。 ・費用＜効果。協働事業としてすばらしいと思います。 ・・実費がかかる原材料は行政できっちり用意して、労力（作業）はボランティアにお願いするこ	

とが原点ではないか。末永く環境整備を継続していくために、棲み分けをしっかりとしてほしい。

- ・団体との協力が出来草取りボランティアが多くなると良い。
- ・環境課との連携が、よく出来ていたと思います。
- ・1年目に大変良い協働関係が感じられます。今後も共に作り上げる体制を維持して欲しいと思います。

協働事業名 【実績報告②】	野良猫を捕獲して、不妊去勢手術をして、元の場所に戻す活動（TNR活動） 及び子猫の保護と里親制度の活用 （寒川ネコの会／環境課・都市計画課）
（提案団体に関する意見） ・今後共、非常に良い事業ですので続けていただきたいと思います。 ・ご苦労さまです。今後共出来る限り長く活動されることを期待します。 ・猫に関する課題への挑戦、成果が出ていることを評価したい。 ・動物愛護の観点からも、すばらしい活動と実績だと思っております。継続していく為の課題を明確にし、行政と共に力を合わせて継続される事も期待しております。 ・地域の環境保全のために日々ご尽力いただいていることに、敬意を表します。 ・実績を基に、行政への働きかけも大いに行っていただきたい。 ・全町内で、野良猫の被害を受けている町民も多い筈です。 ・御苦労様です。野良猫が減少している事は良いと思います。一般の方のエサやりも考えると良いと思います。これからも継続必要。 ・人にとっても猫にとっても、大切な取り組みだと思えます。今後も続けていただきたいと思います。 ・大変効果があがったこと、その御苦労に感謝いたします。さらに地域を拡大していただけるよう、発展的な活躍についてお願いしたいと思えます。	
（町に関する意見） ・30年度も予算をつけていただけていますが、31年32年も予算をつけれるよう努力して下さい。 ・30年度も30万円の予算で活動を継続されるのは、良いと思います。 ・環境課が予算を引き継ぐ由。猫問題は町全体に発生しているはずであり、今回の取組みをきっかけに対応範囲が拡大されることを期待する。 ・町内全体での活動になる様、ご検討下さい。 ・野良猫が増加することの被害を町民に徹底することや、飼い猫との区別をするため飼い主への義務を周知させる努力をしてほしい。 ・野良猫の抜本的政策を町としてどうするか示さないと、いつまでもいちごっこで先には進めない。今も餌をやっている人もいる。 ・町民が猫の飼うマナーを考える。 ・広報さむかわなどで、猫の飼い主へ管理を徹底するように周知すると共に、餌やりなどしている人への警告などもしてほしい。 ・近隣の人が減少したという印象を感じたタイミングでの、効果的なPRなどのアクションが大切	

だと思います。

(協働事業に関する意見)

- ・ 6本の中では、一番成果が見える事業ですので続けて下さい。
- ・ これからは町主導で更なる進展を期待します。
- ・ 当団体だけの対応だけでは限界があると思う。町民の環境維持のため、例えば衛生指導員の権限を拡大し、カラス対策、不法投棄（ごみ置場や河川も含め）対策も含めたらどうか。
- ・ 団体との協力必要。
- ・ 環境課や都市計画課とよく連携されていて、協働できていたと思います。
- ・ 双方で連動した活動をさらに進めて、維持発展していただけたらと思います。

協働事業名

川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理

【実績報告③】

(川とのふれあい公園花壇の会／都市計画課)

(提案団体に関する意見)

- ・ 花壇を使用していただけの人を、より多くあつめて下さい。
- ・ 花壇の維持、発展に出来る限り長く続けられることを希望します。
- ・ ボランティアが減少した場合に活動が維持できるか心配している。活動の魅力と成果を広めて欲しい。
- ・ 大変なご苦勞が有るのだらうと思いますが、是非、会として、空き区画についても咲かせていただきたい。
- ・ 川とみどりのまちづくりのために活動していただいている数少ないボランティア団体として、感謝申し上げます。
- ・ メンバーの減少は多くの団体で直面している課題であり、HPだけでなく、例えば自治会の回覧に入れることなども考えては如何ですか。
- ・ 御苦勞様です。綺麗な花を咲かせるのは大変と思いますが、継続できたらうれしいです。
- ・ 夏の暑い時に草刈りをされ、その草をリサイクルして、有効活用するなど、とても意義ある活動だと思います。今後も継続して、花壇の整備・維持管理をしていただけると、町民の散歩エリアとして楽しめると思います。
- ・ 事業実施期間内でしっかりと計画され、着実に目指す成果を上げて来られたと思いました。

(町に関する意見)

- ・ 「寒川町観光協会」と協力して、花のボランティアを集めて下さい。
- ・ 町として、今後共積極的にサポートして欲しいと思います。
- ・ 担当課は本件の維持を考えているが、資金に限りある中で緑化に関する計画と進め方を長期的視野に立って立案されたし。
- ・ HP内「ボランティア募集」とストレートに書くと、敷居が高いのかなと思います。「応援隊」等、少しワクワクする様なPRや募集の仕方にするとうまいかと思います。又、グランド利用者にボランティア活動とセットで活動していただく様にする仕組み等、考えてみても良いのでは？
- ・ 家庭菜園など土地いじりをしたいと言う住民も多いことと思う。又、行政も、相模川河川敷を町

民の憩いの場として、もっと積極的に利用することを考えては如何でしょうか。

- ・予算付けは出来ない様ですが、協力は必要と思います。
- ・いろいろな場面を活用し広報し、花壇利用者を増やしてほしい。
- ・団体と連動し、維持ではなく発展を目的とした事業を検討していただきたいです。

(協働事業に関する意見)

- ・内容を、もう一度吟味して下さい。
- ・花壇利用者が増えるように、協力して欲しいと思います。
- ・相模川は町にとっても重要な資源であり、スポーツ施設だけでなく、多機能な公園としてプロジェクトを組んだらどうだろう。もちろん、一級河川としての制約はあるだろうが、そこは政治的な運動で、町が動かなければ国からは動きません。
- ・団体との協力をお願いしたい。
- ・よく協働、出来ていると思います。今後も空き区画の利用者増につながる、更なる支援をしてほしい。
- ・町がもっとふみこんだかわりを持ち、団体とより連動した形で進められると良かったと思います。

協働事業名

町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動

【実績報告④】

(住みよい町・さむかわにする会／道路課・都市計画課・教育総務課)

(提案団体に関する意見)

- ・継続事業としてつづけて下さい。
- ・今年度から予算的に厳しいと思いますが、町と協働で出来る限り長く活動が続けて欲しいと思います。
- ・かなり緻密な計画を立て、着実に成果が出ていると思うが、個人の能力に頼りきっている感もある。
- ・専門的な知識を持って取り組まれているすばらしい事業だと思います。
- ・本来行政がやるべき仕事を担っていただいていることに、感謝しています。すべての町民の財産を、しっかり保全していただくことを望みます。
- ・御苦勞様です。緑を大切にすることは、とっても良い事です。
- ・植えた木々が美しく保たれるのには手入れが必要だと思いますので、良い取り組みだったと思います。
- ・技術や知識の継承についても、団体として今後も可能な形で広げ、継続していただきたいと思います。

(町に関する意見)

- ・予算をつける努力をして下さい。
- ・町として積極的なサポートをお願いします。
- ・緑化の有り方については、事業③を含めて継続すべき課題の選択と絞り込みが必要である。
- ・継続した、人的支援をお願い致します。

・公共施設と同様に樹木もあるはずなのに、一個人にすべてを依存していることは良いことなのか。機材も、他の者はあぶないからと個人が保持していることに違和感を感じる。これではチェック機能が全く働かないのではないかと。 ・予算付けはないとの事。人的支援は必要？ ・町の木については、継続的に管理が必要だと思います。30年度は予算がついていないようですが、みどりに対する補助金など活用するという事ですので、良いと思います。 ・今後に向けて、知恵を絞って継続できるよう、努力していただけるようお願いします。
(協働事業に関する意見) ・町の広報等でPRをして下さい。(町民に対して) ・役割分担は良いのではないかと思います。 ・行政がやるべきことは何なのか。今までの話を聞いていると、行政は団体(個人)から言われるままで、少しでも知識のある者がいないことは検証は全く出来ないこととなる。 ・団体との協力が必要？ ・3つの課が関わる事業ですが、協働出来ていたと思います。今後は計画的に町の木を見回りして、早いうちに補修などしてほしい。ボランティアなども募集して、その方々との協力も必要と思います。 ・継続していくなかで、少しずつ協働の形ができてきたと思いました。

協働事業名 【実績報告⑤】	子ども未来塾～生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」～ (住みよい町・さむかわにする会／学校教育課)
(提案団体に関する意見) ・大変でしょうが、是非続けて下さい。「地域の教育力」を高めて下さい。 ・補助金がなくなり、大変だと思いますが、出来る限り子ども達のために、活動を続けて欲しいと思います。 ・困窮家庭はわずかずつながら増加傾向にあり、本事業が当初目指した方向とズレが生じたようにも思える。(進学の結果は多としたい) それだけ教育の問題は多種多様ということか？ ・計画では「生活困窮の子どもたちに」と言われていたが、本当に当初の目的を果たせたのだろうか。生活困窮の負のスパイラルを少しでも解消することが出来たのかの検証をしていただきたい。少子化時代でほとんどの者は進学できる。寒高は定員に入っていないのだから。 ・御苦労様です。学習向上のサポートはとっても良いと思いますが、講師の方を町外でなく町内の方をお願いする方法もいかがでしょうか？ ・教育という根気のいる事業を行うことは、大変だったと思います。目標は高校受験に合格という事でしたので、達成できたと思います。 ・是非継続していただきたいと考えます。又、特に高校生に対しては、キャリア支援、キャリア教育の視点も取り入れたり、経済的支援についても学ぶ機会があると良いと思いました。	
(町に関する意見) ・予算をつける努力をして下さい。	

- ・出来る範囲でサポートしてあげて欲しいと思います。
- ・学童支援を含め、担当部署（教育委員会）の将来構想が問われている。課題への優先順位付けに英断を望む。
- ・先生方の過労問題もあり、塾が補完することは今日必要と思うし、行政としてもすでに実施されていることは承知している。ならば当団体も同様な扱いをすべきである。行政として教育レベルの底上げと同時に生活困窮生徒の救済は出きるのだろうか。
- ・予算付けないとの事です、何かで協力は必要と思います。
- ・家庭環境などで勉強がしにくい子どもさんなどに対して、今行われているニコニコ塾など、小学校低学年から支援する仕組みを強化してほしい。受験前の短期間では本当の学習習慣は身につにくく、長期的視野が必要だと思います。
- ・町として必要な事業であると考えます。さらに踏み込んだ形で継続して欲しい。又、学校教育で対応できない部分として、生涯学習担当課との連携も必要だったのではないかと思います。

（協働事業に関する意見）

- ・むずかしい問題もありますが、「地域の教育力」を高めるしてんで重要な事業であると思います。
- ・町の子どもの役に立つと思いますので、協働で何かが出来ればと望みます。
- ・無料の塾になってしまつては、事業の目的がブレます。その講師のアルバイト代を公費で出すのであれば、根本から話が違ってきます。
- ・この事業の基本は、町民のボランティア活動を行政が物心（金）両面で支援し、伴に目的を達成していくことである。しかし、この事業はアルバイトを雇い賃金・交通費を払うこと。しかも、アルバイト生の生活を助けるため賃金を払うということに、全く未来の目的と違い違和感を強く感じる。
- ・団体との協力、家ででの学習の習慣を付ける事は大事だと思います。
- ・立場が違うという事で積極的な協力は難しかったと思いますが、相談出来た事は良かったと思います。
- ・この事業が目指す目標を考えると、継続することについて、当然イメージしてきた。是非、協働により、継続する方法を模索して欲しいと思います。

協働事業名

青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業

【実績報告⑥】

（小谷地域防犯安全パトロール隊／町民安全課）

（提案団体に関する意見）

- ・是非、継続して、出来る方向をお考え下さい。（地域に大変こうけんしていると思います）
 - ・高齢化で大変ですが、出来る範囲で続けられることを希望します。
 - ・保護者からの評判も高く成果は出たと考えられるが、車輛の確保に難儀したとの事で、今後の継続には課題が明らかになった。
 - ・日々のご活動、頭が下がります。
- 是非、地域の皆様を更に巻き込んで（仕組づくり）継続出来る方向へ進まれる事を祈っております。
- ・軽トラを利用した青パトの発想はすばらしいことと思いますが、車の所有者の好意で運営することはむずしいですね。徒歩で歩いているとか、普段からビブスを着ているとかも考えられてもよい

と思います。

・車でパトロール御苦勞様です。高齢になり危険をとめないながら、運転は十分注意して頂き、交通安全のパトロール事故のないように継続お願いいたします。

・子どもたちの安全・安心を守る活動として、素晴らしいと思いました。車の運転という事でいろいろな制約があると思いますが、60代くらいのボランティアが増えて継続出来る事を願っています。

・事故なく、無事に実施されてきたこと、何よりでした。今後の人材確保など、他地域の先がけとして、継続実現していただけたらと思いました。

(町に関する意見)

- ・町のパトロール車の使用（寒川全体）とて可能な方法をかんがえて下さい。
- ・町として出来る限り協力していただくことを希望します。
- ・他の学校区でも実施するモデルケースにもなるのではと期待されたが、若干尻切れトンボ状態となりそうなのは残念。
- ・個人の車を使うことの課題が、明確になったと思います。事故はもちろん、きずをつけたりしたときの保障はどうするかなどの問題を、行政としてどう考えるか。
- ・町の青パトを利用して、小谷方面だけでなく、町全体のパトロールをお願いしたい。
- ・今後は、希望する地域全てで実施されると、町全体の防犯につながると思います。
- ・団体として非常に厳しい状況で活動されてきていましたので、是非、今後に向けて知恵を出して欲しいと思いました。

(協働事業に関する意見)

- ・寒川全体としての（寒川5小学校）に出来る方法を考えて下さい。
- ・活動者と町の積極的な協働を期待します。
- ・今回のすべての協働事業に言えることですが、提案された内容で本当に協働事業として馴染むものなのか、ボランティアとして行うのか、利益事業ではないか充分見分けをする目が必要である。リスクがどの位あるかなども、考慮することも必要。
- ・極力事故のないように協力して欲しい。
- ・協働して事業が出来ていたと思いますが、今後はイベントの折などに青パトの紹介、ボランティア募集のチラシの配布などして、ボランティアの確保に協力してほしい。